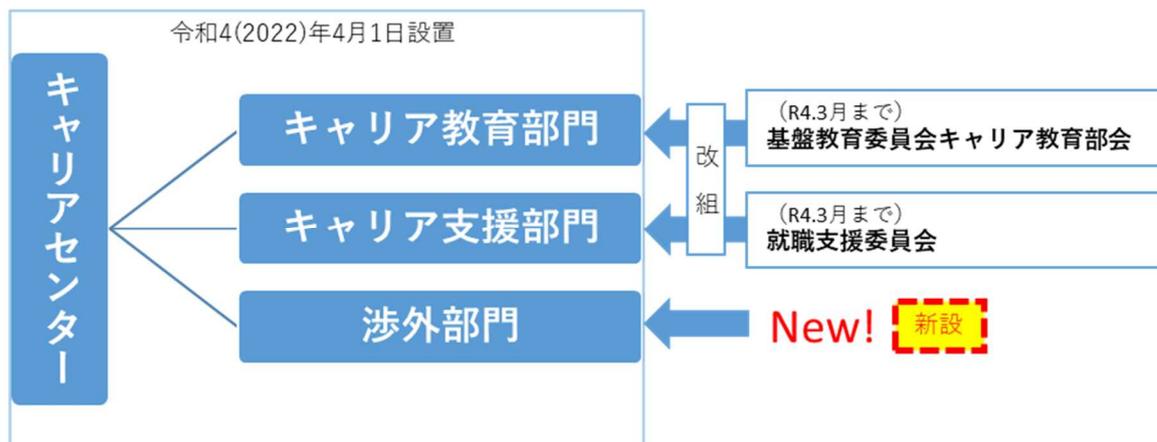


令和 4 年 3 月 2 日

福島大学キャリアセンター設置のご案内 ～夢を叶える学類 4 年間+大学院の一貫したキャリア教育・支援～

福島大学では、大学における学生の多様なキャリア形成を図り、就職活動等を支援することを目的として、令和 4 年 4 月 1 日にキャリアセンターを同大キャンパス内に設置します。キャリアセンターには、キャリア教育部門、キャリア支援部門、新たに設置する渉外部門の 3 部門を設置し、社会の変化に対応し、機動的に動ける体制にしました。

設置同日、キャリア教育部門や渉外部門の業務を担うキャリアコーディネーター（特任准教授）を採用予定です。



1. キャリアセンター設置のきっかけ【別紙 1】

現在、大学を取り巻く現状は、以下の 3 つの変化（社会、学生、大学の役割）があり、大学として、それに対応する必要がある。今後、どのような状況にあっても、活躍できるイノベーション人材を育成するためには、学生が学類 4 年間と大学院を通じて、自分の将来を考えられる体制を組織的に整備する必要があると感じ、キャリアセンターを設置することとした。

① 社会の変化

今は VUCA（きまぐれ、不確実、複雑、曖昧の英語の頭文字をとった造語）の時代といわれ、新型コロナウイルス感染症拡大への対応や働き方改革による変化など、今までの常識が通用しない。

② 学生の変化

上記のように社会が変化することで、自己肯定感が低かったり、失敗を恐れたりする学生が増えており、社会変化を意識した教育を行う必要がある。

③ 大学の役割の変化

大学は学生が社会への第一歩を歩む機関であることから、実社会で活躍できる人材の輩出を求められている。

2. キャリアセンターの特徴

特徴①：スローガンと共通目標の設定【別紙 2】

学生に向けたキャリア教育及びキャリア支援では、「夢を叶える学類 4 年間十大学院の一貫したキャリア教育・支援」をスローガンに掲げ、各学年の共通目標を設定した。このことにより、学類横断的にキャリア教育、キャリア支援の目線合わせを行い、一貫したキャリア教育、キャリア支援ができる。

これにより、学生は自分のキャリアを見据えながら、大学生活をどのように過ごすかを考えるようになる。

特徴②：教職学協働のセンター

学生のキャリア形成を考えた時、教員、事務職員どちらかの力で成し得るものではなく、教員と事務職員の両方がそれぞれの立場で、学生が安心して就職活動を行い、納得して進路を決定していくために教育、支援を行う。また、就職活動を終えた学生や卒業生が後輩のために、自らの知識や体験を生かしたイベントの企画・運営等を行う仕組みを作る。

特徴③：学生と社会をつなぐ渉外部門

キャリアコーディネーターが部門長となる渉外部門において、県内外の企業、自治体、保護者等のステークホルダーの状況を把握し、連携強化、分析を担う。県内外企業や自治体等の雇用状況等をキャリア教育部門会議やキャリア支援部門会議に報告することにより、企業や自治体の情報を教育（教員）へフィードバックすることで、イノベーション人材の育成に向けて、PDCA サイクルを回していく。

また、県内外の企業、自治体との連携では、令和 4 年 4 月に設置する地域未来デザインセンターや絆会等を活用することで強化していく。

(お問い合わせ先)

キャリア支援課長 高野佐知子

電話：024-548-5297

メール：shushoku@adb.fukushima-u.ac.jp